

財団法人茨城県企業公社

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

代表者名	理事長 福田克彦(非常勤)	所管部(局)課	企業局総務課	
所在地	水戸市笠原町978-25	電話番号	029-301-1133	
ホームページURL	http://www.mizudasu.or.jp	E-mailアドレス	kigyokousha@mizudasu.or.jp	
資本金(基本財産)	40,000千円	設立年月日	平成2年6月29日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県企業局	30,000千円	75.0%
	2	財団法人茨城県企業公社	10,000千円	25.0%
	3		千円	0.0%
	4		千円	0.0%
	5		千円	0.0%
その他	団体		千円	0.0%
設立的	<p>県行政には、多様かつ高度な県民ニーズに対応していくためのきめ細かな事業の展開が求められ、公営企業においても水道事業の一層の促進はもとより、経営の合理化が求められる中、茨城県の発展と茨城県民の安定した生活環境の向上に寄与することを目的として、水道の普及促進や浄水場の運転管理業務等を行い、県行政や公営企業をサポートするために設立された。</p>			

[事業の概要]

事業名	平成16年度事業費	内容
事業1 公益事業	3,014千円	「県民まつり」等のイベントに参加し、水道水の安全性をPRすることにより、水道の普及を促すとともに、水道水源の浄化や水資源の大切さについて啓発している。市町村の水道事業に従事する職員を対象とした研修会を実施し、担当職員の資質の向上を図っている。
事業2 受託事業	968,200千円	県企業局の所管する浄水場の運転管理業務や水質検査業務を行い、水道水の安定供給に貢献している。つくばヘリポートの管理や格納庫の管理も行っている。
事業3 収益事業	53,523千円	県企業局が所管する水道用管路の維持管理を行い、水道水の安定供給に貢献している。浄水発生土資源化設備の運転管理と製品販売を行い、資源のリサイクルに対する県民の意識の高揚を図っている。市町村の浄水場等の運転管理を行い、水道事業の効率化に貢献している。

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成14年			平成15年			平成16年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤理事	1	1	0	1	0	1	1	0	1
	非常勤理事	8	0	0	7	0	0	7	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	11	1	0	10	0	1	10	0	1
職員	管理職	6	5	1	6	5	1	5	5	0
	一般職	55	0	0	54	0	0	55	0	1
	臨時職員	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	嘱託職員	150	0	1	144	0	1	148	0	1
	計	213	5	2	206	5	2	210	5	2
当期常勤職員 の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	35	18	2	5	60	31歳10月	8年8月			

[収支の状況]

財団法人茨城県企業公社

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
収 支 の 状 況	収入合計	1,244,772	1,208,300	1,169,959
	事業収入	1,227,977	1,197,865	1,160,763
	事業外収入	16,795	10,435	9,196
	支出合計	1,244,264	1,206,653	1,167,937
	事業支出	1,046,999	1,013,864	983,289
	事業外支出	197,265	192,789	184,648
	うち管理費	33,263	31,506	29,418
	うち人件費	1,095,726	1,067,340	1,037,451
	当期収支差額	508	1,647	2,022
	正味財産増加額	39,977	29,961	32,020
	正味財産減少額	40,337	32,308	33,797
	当期正味財産増減額	148	-700	245
	前期繰越正味財産	99,345	99,493	98,793
期末正味財産	99,493	98,793	99,038	
財 産 の 状 況	資産	281,400	267,991	277,877
	流動資産	132,887	111,528	110,195
	固定資産	148,513	156,463	167,682
	負債	181,907	169,198	178,839
	流動負債	96,091	73,086	69,731
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	85,816	96,112	109,108
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	99,493	98,793	99,038	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	1,169,402	1,133,596	1,118,788
	貸付金			
	計	1,169,402	1,133,596	1,118,788
	財政的関与の割合(%)	94%	94%	96%
	損失補償・債務保証			

[平成15年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	「浄水場の運転管理業務等委託」, 「管路保守管理業務委託」及び「資源化設備運転管理業務委託」を受け, 効率的な業務の推進に寄与している。
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	7	8	87.5%
目的適合性	5	13	14	92.9%
組織運営の適正性	4	7	8	87.5%
健全性	11	26	40	65.0%
効率性	9	11	32	34.4%
合計	33	64	102	62.7%

公益法人会計用

財団法人茨城県企業公社

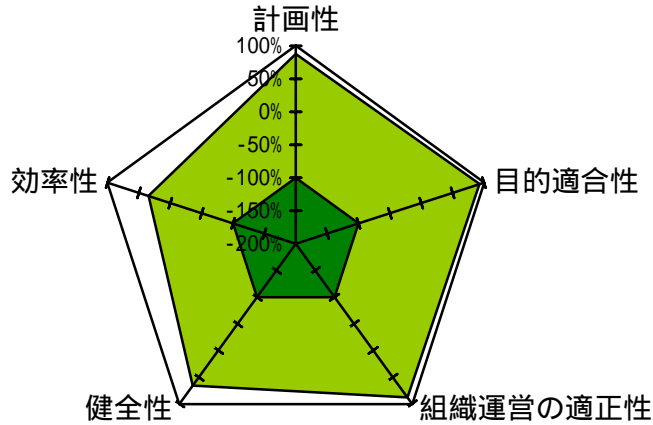
警戒指標

(評価の視点)

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

経営評価レーダーチャート



[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">健全性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>公益事業として水道の普及促進・水質浄化等の普及啓発活動への取り組みは評価される。浄水場等の管理運営業務については、水道法の改正を受け、全国の一部の地方自治体において民間委託の導入・検討が進んでおり、今後、民間事業者との競争が予想されることから、発注者に品質、価格の両面で満足を与えられるよう、一層の業務の効率化に努められたい。</p>

総合的所見等に係る対応	<p>企業公社は企業局浄水場の運転管理業務の長期にわたる安定的な実績がある。今後は、運転管理業務に係る各種資格の取得等による技術力の向上や、より一層の業務の効率化に努め、民間事業者との競争に対応できる経営体制を確立するよう指導していく。</p>
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

< 財団法人茨城県企業公社 から県民のみなさまへ >

当公社は、県行政を補完し、公営企業の円滑な推進を支援することを目的として、平成2年に設立いたしました。以来、浄水場の運転管理業務を中心に着実に実績を積み重ね水道水の安定供給に貢献して参りました。

公益事業といたしまして、各種のイベントに参加し、県民に対する水道の普及促進、水道水源の浄化についての啓発活動を積極的に行うなど、本県の水道普及率の向上にも寄与して参りました。

今後は、次のとおり事業を推進して参りますので、県民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

これまで培ってきた運転管理技術や水質分析技術に磨きをかけ、安全・確実な業務で信頼を深め、県企業局と一体となって水道水の安定供給に努めて参ります。

公益法人として、水道の普及促進などの設立目的に沿った啓発活動を行って参ります。

経営基盤の安定を図るため、新たな事業を模索していく一方、引き続き経営の効率化を図って参ります。

平成17年2月 財団法人茨城県企業公社 理事長 福田克彦

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
県企業局の中期経営計画との整合性を保ちながら、経営体質の強化を図っていく。	浄水場の運転管理を円滑にサポートするとともに、水道の普及促進等も積極的に行っており、設立目的に沿った事業を実施している。	管理職者数や常勤役員数は適正である。職員の年齢構成に偏りがみられるが、業務は円滑に行われている。	事業の大部分を実費弁償方式で行っているため、利益率は上がらないが、借入金もなく、経営は健全である。	安全で安心な水道水の安定供給のためには、これ以上の人員削減は難しい状況であることから、既定経費の見直しを行い、より一層の経費削減に努めていく。
今後の事業展開の方向 現在行っている水道の普及促進や水質浄化啓発等の公益事業を積極的に展開しながら、経営基盤の安定を図るために財源の確保に努めていく一方で、より一層の経費削減に努めて、経営の効率化を図っていく。また、県企業局と一体となって水道水の安定供給に努めるとともに、これまでに培ってきた浄水場の運転管理や水質分析技術に磨きをかけ、安全・確実な業務を行うことで更なる信頼を得られるよう努めていく。				

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
年次計画及び中長期計画が策定され、計画的に事業が実施されており、概ね計画どおりに推移している。	水道の普及促進等に積極的に取り組むとともに、企業局浄水場の運転に関わる作業を安定的に実施しており、当初の設立目的に沿った事業が行われていると認められる。	内部管理体制が適切に整備・運用されているほか、財務状況も積極的に公開し、運営の透明性が確保されている。 また、嘱託職員を積極的に雇用することにより人件費の軽減を図っているほか、内部研修等を実施して職務能力の向上を図るなど、適正な組織運営が行われている。	事業の大部分が実費精算方式のため、利益率等財務に係る指標はさほど高くないが、経営は安定的に推移しており、借入金もないため、財務体質は健全である。	企業局浄水場の運転管理業務について、毎年ほぼ同じ人員体制で実施しており、人件費比率等は毎年ほぼ同一水準である。 業務上人員の削減は難しい状況であるが、経費の削減等より一層の経営に効率化に努めるよう指導していく。
		推進事項	取組み状況	
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	県職員の団体役員兼任の縮減		従来2名とも県職員兼任としていた公社監事について、平成16年4月から1名を外部から招聘し、兼任の縮減を図った。	
法人担当課の意見	<p>企業公社はこれまで水道の普及促進や水質浄化の啓発に積極的に取り組んでおり、本県の水道普及率の向上に寄与してきた。また、企業局浄水場の運転管理を円滑にサポートすることにより、局職員の人員増の抑制に貢献してきたほか、技術力の向上に努め、水道事務所職員の指揮監督のもと、県内6浄水場の夜間・休日の運転管理業務を公社職員のみで実施するなど、企業局と一体となって水道水の安定供給に努め、県民福祉の向上に寄与してきた。</p> <p>平成15年度経営評価においては、公社の安全・確実な施設管理は評価されたが、水道施設管理業務の受託について民間業者との競争が今後予想されるため、その競争に耐えうる経営の確立が必要とされた。</p> <p>企業局では、この評価結果に基づき公社に対して、各種資格の取得等による技術力の向上及び経費の見直し等による経営の効率化により、民間業者との競争に負けない経営を確立するよう指導しており、公社もそれに向けて取り組んでいるところである。</p> <p>企業局浄水場等運転管理業務委託については、平成16年度当初契約額で対前年比約15,000千円の減となっており、経費削減の効果が現れている。平成16年度経営評価においても経営状況に大きな変動はなく、引き続き技術力の向上及び経営の効率化に努めるよう指導していく。</p> <p>また、監事2名のうち1名を外部から招聘するなど行革大綱の推進事項についても積極的に取り組んでおり、評価できる。</p>			